

おはこぎ通信

平成27年11月18日発行

【発行】

NPO 法人釜石東部漁協管内復興市民会議

(通称:おはこぎ市民会議)

〒026-0303 釜石市箱崎町 10-9

釜石東部漁業協同組合内

【おはこぎ市民会議とは】

釜石東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)の有志が連携して「100年先を見据えた安心安全な復興まちづくり」「持続可能な地域のまちづくり」を目的として設立されたNPO法人です。

岩手大学人文社会科学部の集中講義受け入れ

9/24(木)13:15~16:00、岩手大学人文社会科学部の学生22名、教員5名の漁業体験受け入れを行いました。釜石で、被災地の復興、地域・水産業の現状や地域経済について学び、地域の抱える課題に理解を深め、今後の方策をともに考えることを目的とした、集中講義の一環です。

釜石に到着した学生は、まず座学を一齐に受講し、震災後における地域の漁業の現状について学びました。座学は、東部漁協の小川原泉組合長と高弘一参事が担当し、実際に使用している漁具を使用しながら行いました。座学後の質疑応答では、様々な質問が飛び交い、「もっと詳しく話を聞きたかった」という学生もあり、勉学意欲の高いことに感心しました。

その後、2グループに分かれ、養殖場(ホタテ・ほや)見学(植田有功さん、荒屋正明さん、植田勝雄さんが担当)と、ホタテのはたき・殻むき・試食(久保典男さんが担当)を、交代で体験しました。養殖現場を見学し、自分の手でホタテを剥いて食べた学生は、「とても新鮮な体験。獲れたては美味しく、市販との違いを感じた」と語ってくれました。また、「家は農家で、漁業と農業のそれぞれの大変さを知った」、「漁業に関わる親戚のことを思い出し、詳しく話を聞きたくなった」などの気持ちの変化を実感した学生もいました。

来年は、岩手大学農学部水産システム学コースの釜石設置が決まっています。今回の受け入れは、大学の教育現場において、漁業の魅力と現場を知る大切さを大いに伝えることができました。また、当団体は、漁業の魅力を発信する工夫や、体験をより良くする意見など、学生の方々から様々なことを学びました。これからも、岩手大学を受け入れていく予定です。



【座学】



【養殖場(ホタテ・ほや)見学】



【ホタテのはたき・殻むき・試食】

「歴史・文化の伝承等についての聞き取り調査」協力

8/27(木)、28日(金)の二日間、都留文科大学が実施する「歴史・文化の伝承等についての聞き取り調査」を両石、桑の浜、仮宿、白浜において実施しました。これは、箱崎半島釜石東部漁協管内における、漁村文化の復元を目的に行われたものです。都留文科大学の高田研先生と学生20名は、各地域の昔をよく知る方から伝説や地域の年中行事、食文化、生業、説話について丁寧に聞き取りを行いました。今では見ることの難しい景色や文化などの貴重な話の数々に、同席の地域の方も一緒に聞き入りました。



【聞き取り調査の様子】

漁業体験ツアー「大型定置網漁見学」実施

10/24(土)3:30~10:30、桑の浜漁港で、当NPOが来年の6月までに計画している8つの漁業体験ツアープログラムの第1弾として、大型定置網漁見学ツアーを実施しました。定置網漁の見学後、番屋で魚のさばき方を教わり、朝食をいただき、箱崎半島の素晴らしい景観、漁業、魚の魅力を堪能しました。寒い時期の実施となりましたが、参加者に大きな満足感を与えられる体験ツアーとなりました。参加したホテル関係者、大学関係者からは「是非周りの方にも勧め、また参加したい」と感想をいただきました。これからの、滞在型観光や大学の協力体制実現に向けて、様々な可能性が考えられる機会となりました。



【4:30頃の網起こしの様子】

東部漁協女性部「いわての浜料理選手権」最優秀賞受賞

10/29(木)、釜石東部漁協女性部が岩手県沿岸広域振興局主催の「いわての浜料理選手権 上閉伊地区大会」で、見事に最優秀賞を獲得しました。出品作は、「ホヤの串焼き 味噌風味」でした。ホヤが苦手でも美味しくいただけるという方が続出し、大変好評でした。女性部は、来年の1月に宮古市で開催される県大会に出場します。ますます活躍されることが期待されます。※上閉伊地区大会出場者：三浦紘子さん、澤口節子さん、松本ミサヲさん、三浦世津子さん、萬あい子さん



「市道箱崎半島線」視察第2弾、実施予定

皆が待ち望んでいる「市道箱崎半島線」の工事状況視察の第2弾を、12月に実施する予定です。日程は未定ですが、決定次第お知らせします。4月に参加できなかった方、関心をお持ちの方は、この機会に是非ご参加ください。